

記入日：令和3年 2月 9日

令和3年度 特別養護老人ホーム ひまわりユニット運営計画書

施設長	フオリター	作成者

～私たちは、地域に信頼されるべき存在であり続けます～

中期経営計画目標 : “KAIGO × テクノロジー”
 (2020.4-2023.3) ~超高齢化社会・生産年齢人口急減社会にあっても、地域の皆様に高品質のサービスをお届けするために～
 法人事業計画目標 : 予測できない時代だからこそ…突き抜けるまでやってみよう！

ユニット運営計画目標：ご入居者のサインに気づけるケアの提供～穏やかで安心できる毎日を～

行 動 計 画 表

(期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

区分	項目	ねらい	手順	具体的行動計画（実践をするために何をするか）					実施結果と今後の展望
				誰が	誰に対して	何を	どのように	いつまでに	
①	⑤	ユニットケア、法人理念に沿ったケアが行えるようスタッフひとり一人が知識を深め、それをユニットにフィードバックすることで共通認識を形成しチームケアに取り組むことが出来る	説明	ユニットリーダー	ケアワーカー	第33条、法人理念の理解	ねらいについて伝える	令和3年5月	
			実施	ユニットリーダー	ケアワーカー		スタッフひとり一人の目標に沿った研修への参加	随時	
				ユニットリーダー	ユニットリーダー ケアワーカー	第33条、法人理念に基づいたケアの実践について	参加した研修についてユニット会議でフィードバックする	研修参加後のユニット会議開催時	
その他		ウッドデッキで園芸や散歩、	説明	ユニットリーダー	ケアワーカー	園芸を通し	ねらいについて伝える	令和3年5月	

	お茶などをする事で季節を感じていただくとともに植物に触れることでストレスの軽減、うつ症状の緩和、意欲の回復を図り認知症の進行を抑え、日常生活機能の維持向上に繋げる	企画	担当ケアワーカー	入居者	て認知症の予防進行を抑えるケアの実施	季節に合わせた植物を用意しご入居者スタッフで世話をする	随時	
			担当ケアワーカー	入居者		気候の良い日はウッドデッキで植物を眺めながら散歩やお茶をしていただく	随時	
		評価				ユニット会議で振り返り評価する	開催後のユニット会議時	
その他	買い物や外食、花見等の外出支援に変わるサービスをユニット内で提供する。	説明	ユニットリーダー		新しい生活様式に沿った外出支援に変わるサービスの提供	ねらいについて説明する	令和3年5月	
		企画	担当ケアワーカー			ねらいに沿ったサービスについて入居者の希望に応じて企画を立て、ユニット費を活用し必要物品を用意する	随時	
		実施	担当ケアワーカー	入居者		入居者の希望に応じて ・移動販売、通販等を活用する ・ウッドデッキで季節の草花を育て、気候の良い日は散歩やお茶をしていただく ・季節を感じる事の出来るおやつや食事をユニットで提供する	希望時 1回/月程度	
		評価	担当ケアワーカー	ユニットリーダー ケアワーカー		実施した企画について振り返り評価する	実施後のユニット会議時	
その他	不快感なく排せつが行えるよう排せつ支援計画に	説明	ユニットリーダー	ケアワーカー	不快感のない排せつ支	ねらいについて伝える	令和3年5月	
		実施	ユニットリーダー	入居者		排せつ支援計画書に基づ	随時	

	基づいた支援を行う		ケアワーカー		援	いたケアを実施する			
		評価	ユニットリーダー ケアワーカー			実施したケア、計画書について見直し評価する	1回/3か月		
その他	適切な口腔ケアを行い、口腔機能を保つことによりご入居者の生活の質の維持向上を図る	説明	ユニットリーダー	ケアワーカー	適切な口腔ケアの実施	ねらいについて伝える	令和3年5月		
		受講	ユニットリーダー	ケアワーカー		歯科衛生士による口腔ケアの指導を受講する	2回/1か月		
		企画	ユニットリーダー	ケアワーカー		口腔ケアについて勉強会を行い、ご入居者それぞれにあったケア方法を決定する			
		実施	ユニットリーダー	ケアワーカー		決定したケア方法でケアを行う			
		評価	講習受講者	歯科衛生士		実施したケアに関して歯科衛生士にアドバイスをもらう	講習受講時		
その他	ICT技術や介護ロボットについて知識を深め適切に使用することで安心安全なケアを提供するとともにスタッフの負担軽減につなげる	説明	ユニットリーダー	ケアワーカー	ICT, IOT を活用したケアの実施	ねらいについて伝える	令和3年5月		
		受講	担当ケアワーカー	ユニットリーダー ケアワーカー		介護機器についての研修への参加、情報収集	随時		
		勉強会の実施	担当ケアワーカー	ユニットリーダー ケアワーカー		勉強会を行う。導入したい機器やすでにある機器の技術について知識を深める勉強会を行う	研修参加後のユニット会議		
		企画	ユニットリーダー	ケアワーカー		勉強会の結果から使用方法などを決定する	ユニット会議時		
		実施	ユニットリーダー	ケアワーカー		入居者	決定したケアを実践する		
		評価	ユニットリーダー	ケアワーカー			実践したケアについて振り返り評価する		
その他	コロナ禍において新しい生	説明	ユニットリーダー	ケアワーカー		ねらいについて伝える			

	活様式に沿った快適な生活の提供。	計画	ユニットリーダー ケアワーカー	入居者		感染症対策について情報収集する。ユニットの中での活用方法を決定する	ユニット会議時	
		実施	ユニットリーダー ケアワーカー	ユニット内入居者		計画に沿って実施する		
		検証改善	ケアワーカー	入居者		実施し、問題などがあれば随時修正する	随時 11月	
その他	LIFE (旧 CHASE) の入力やデータのフィードバック検証を率先して行い、ユニット運営や入居者のケアに役立てる	説明	ユニットリーダー 特養係主任	ケアワーカー		LIFE の制度及び活用の意義を職員に説明する。 (必要であれば動画を使い各職員が閲覧する)		
		実施	ケアワーカー			必要に応じデータ入力を行う		
		確認	ユニットリーダー ケアワーカー	入居者		LIFE のフィードバックデータを入居者毎に確認し以後のケアに反映する		
その他	認知症に関して、評価スケールを用いて、入居者の認知症に対するの分析を行い、入居者個別に応じた認知症ケアを行う	説明	ユニットリーダー 医務係	ケアワーカー	認知症スケール	認知症スケール(HDS-R、DBD-13、NPI-NH)の内容、調査方法を説明する	5月	
		調査	ユニットリーダー ケアワーカー	入居者		HDS-R、DBD-13、NPI-NHの調査を行い、介護ソフトへ入力する	6月	
		計画	ユニットリーダー ケアワーカー 医務係 機能訓練 指導員	入居者	認知症ケア	調査結果に応じ、入居者のケアを必要に応じて見直し、24時間プランに反映させる	8月	

			生活相談員					
		実施	ケアワーカー	入居者	上記の計画	入居者に計画を実施する	8月	
		検証	ユニットリーダー 看護職員 機能訓練士 生活相談員 ケアワーカー	入居者	実施した結果	認知症ケアに関して、入居者に実施した結果をユニット会議にて検証し、今後のケアの見直しを図る	10月	
その他	虐待防止・身体拘束の適正化及び廃止の概念を各職員が理解をした上で業務にあたる	準備	施設長 ケアマネジャー 生活相談員 特養係主任 ユニットリーダー		資料	虐待防止・身体拘束の適正化及び廃止に関する勉強会の資料を準備する	6月 12月	
		実施	ユニットリーダー ケアワーカー 特養係主任 ケアマネジャー 生活相談員		勉強会の実施	ユニット会議において、虐待防止・身体拘束の適正化及び廃止に関する勉強会を実施する	6月 12月	
その他	介護ソフトの機能を活用し、各帳票のデジタル化や24時間シートの充実を進める	準備 説明	ユニットリーダー 特養係主任	ケアワーカー	介護ソフト	介護ソフトの機能で使っていないものや有効活用できていない部分を洗い出し、業務に使用できるようルールを策定し各職員に説明する		
		実施 改善	ユニットリーダー ケアワーカー			実施し、出てきた問題点などはその都度修正をしていく		

その他	移乗等の介護業務に関して、機器の活用を進め、入居者及び職員の身体的負担の軽減を図る	準備説明	ユニットリーダー ケアワーカー	ケアワーカー	移乗用介護機器等	ユニットで使用する移乗介護機器に関して、使い方や使用場面などを明確化し、職員が問題なく使用できるように講習を行う	随時	
		実施検証	ユニットリーダー ケアワーカー	入居者		実施し、出てきた問題点などはその都度修正をしていく	随時	